

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査書

No.	取組項目		担当課・担当係	取組番号	区分					
94	史跡や施設などの案内ガイドの養成		生涯学習課	3-1-3-005	新規					
基本方針	多様な主体・地域が協働したまちづくりの推進	大項目 市民や地域との協働の推進	中項目	市民参画と担い手となる多様な主体の育成						
取組概要	おやま市民大学に小山の自然や歴史などの案内ができるようなガイド養成コースを企画し、市民講師となって活躍する生涯学習リーダーの育成を図るとともに、主体的に係る体験、実際に活動することを通じて社会活動への参加を促進する。		達成目標	史跡や施設などの案内ガイドの養成	目標年度 H31					
推進計画										
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度				
案内ガイド養成コース（講座）のプログラム化	活動計画	●	●	●	●	●				
	実施状況	●	●	●						
フォローアップ研修など案内ガイド実践活動者の育成	活動計画	●	●	●	●	●				
	実施状況	▲	▲	●						
指標名										
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	実績	達成率	
案内ガイド養成講座数	目標値	2	2	2	2	2	10	7	70.0%	
	実績値	2	2	3						
案内ガイド団体数	目標値	2	2	2	2	2	2	2	100.0%	
	実績値	0	2	0						
年度	P 年次計画・目標		D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容				
H27	おやま市民大学に各種ボランティア養成講座を設ける。専門知識の習得だけでなく、仲間づくりも重視し、ボランティアをする動機付けに工夫をこらす。次年度以降にボランティアとして活躍できるよう、各種ボランティアの関係部署と連携を図るとともに、引き継ぐ。		おやま市民大学において「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成コース」「歴史（琵琶塚・摩利支天塚古墳）ボランティア養成コース」を開講し2年間のカリキュラムのうち1年目が終了した。「渡良瀬遊水地ラムサール推進課」及び「いいとこ教え隊おやま」と連携し、ボランティアガイドの実習を始めた。			次年度は「歴史ボランティア養成コース」の内容を、中世小山氏城跡とし、魅力ある講座開設に取り組む。「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成コース」をH28年度も募集したが受講生数が減少したため、隔年開講・新コースの考案等が課題である。				
			進捗度	B 計画通り						
H28	おやま市民大学に各種ボランティア養成講座を設ける。専門知識の習得だけでなく、仲間づくりも重視し、ボランティアをする動機付けに工夫をこらす。次年度以降にボランティアとして活躍できるよう、各種ボランティアの関係部署と連携を図るとともに、引き継ぐ。必要に応じてフォローアップ研修を行う。		渡良瀬遊水地及び歴史（琵琶塚・摩利支天塚古墳）ボランティアガイド養成コースの2コースは2年間のカリキュラムが終了し、実際にガイド活動を開始した。また、引き続き渡良瀬遊水地及び歴史（中世小山氏城跡）ボランティアガイド養成コースを開講し、2年間のカリキュラムの1年目が終了した。			幅広い年齢層が受講できるように、講座の時間帯・曜日の工夫を行う。同じテーマのボランティア団体が複数設立されるとまとまりがなくなるおそれがあるため、既存の団体に加入することも調整していく。また、新しいテーマを取り入れたコースを設けることを検討している。				
			進捗度	B 計画通り						
H29	おやま市民大学に各種ボランティア養成講座を設ける。専門知識の習得だけでなく、仲間づくりも重視し、ボランティアをする動機付けに工夫をこらす。次年度以降にボランティアとして活躍できるよう、各種ボランティアの関係部署と連携を図るとともに、引き継ぐ。必要に応じてフォローアップ研修を行う。		渡良瀬遊水地及び歴史（中世小山氏城跡）ボランティアガイド養成コースは2年間、摩利支天塚・琵琶塚古墳ボランティアガイド実践コースは半年間のカリキュラムが終了し、それぞれ既存のガイド団体にてガイド活動を開始した。			受講生の減少・講座終了後の実際の活動可能者の減少が課題である。ボランティアをはじめたい方、意欲のある方への宣伝方法を検討する。また、次年度の内容については、新たな史跡・施設のガイド養成に向けて検討を続けていく。				
			進捗度	B 計画通り						
H30	同上									
			進捗度							
H31	同上									
			進捗度							